

みんなで育てる資源循環のまちづくりを目指して

日頃らごみの分別と減量化にご協力いただき、感謝申し上げます。

大村市は、県内では早い時期から古紙・かん・ビンなどのリサイクルに取り組み、最終処分される焼却灰・不燃残さを大幅に減少させ、鈴田地区にある最終処分場の延命化につなげてきました。

しかし、近年は他市に比べてリサイクル率が伸び悩み、環境センターへのごみ搬入量も年々増加傾向にあります。このままでは、ごみ処理経費が市の財政を大きく圧迫することにつながりかねません。

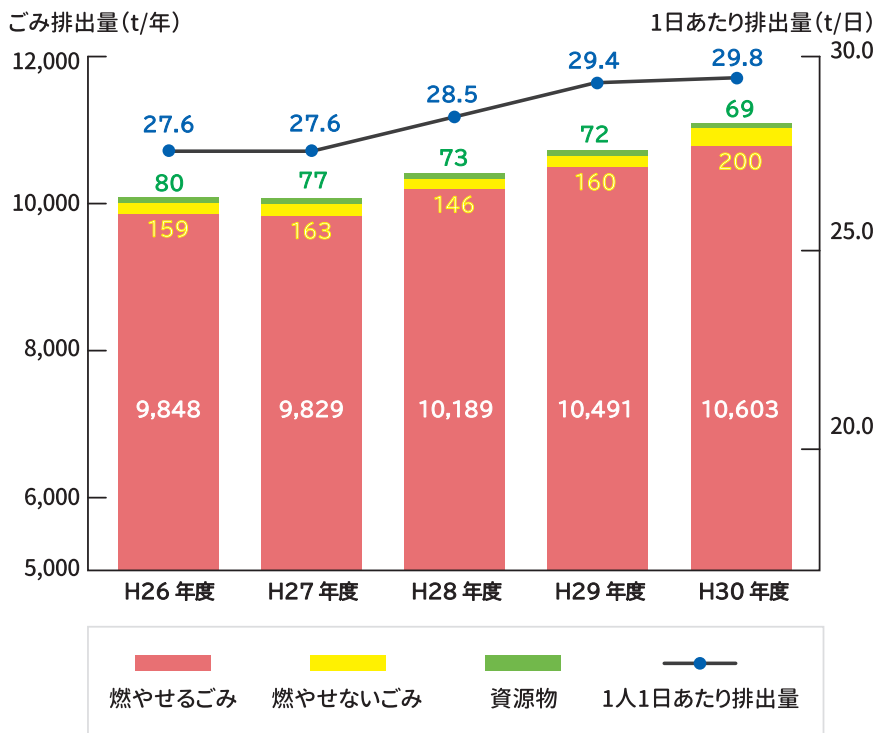
そのために、環境センターでは、「燃やせるごみに含まれる資源物の分別とリサイクル」、「不適正搬入の監視及び指導」、「廃棄物を減らす事業活動の呼びかけ」などの施策に積極的に取り組んでいきます。

今後も「みんなで育てる資源循環のまちづくり」を目指し、Refuse（断る）、Reduce（減らす）、Reuse（再度利用する）、Recycle（再生利用する）の”4R”の推進に、ご理解ご協力をお願いします。

大村市の事業系一般廃棄物の現状

事業系一般廃棄物排出量の推移

(H26年度～H30年度)



平成30年度の事業系一般廃棄物の量は、「燃やせるごみ」10,603トン、「燃やせないごみ」200トン、「資源物」69トンの合計10,872トンでした。

平成26年度から平成30年度にかけて、資源物は若干減少していますが、燃やせないごみは40トン増加、燃やせるごみは755トンと大幅に増加しています。



おむらんちゃん